

峠の向こうは春

家庭学習を質量ともに増やそう！

新学期が始まり、3年生らしく、授業に集中して取り組んでいる人が多いと思います。家庭訪問期間、ゴールデンウィークが終わると、学習確認プログラムが行われます。そして、3年生になって初めてのテストが行われます。「えっ？もうテスト勉強を始めるの？」とびっくりする人もいるかもしれません。2年生の時は、2週間前であったり、1週間前であったり、人によっては前日に一夜漬けという人もいたことでしょう。しかし、3年生になって重要なことは、自分の進路を切り開くために、まず毎日1～2時間は勉強する習慣をつけることです。

「学習確認プログラムに向けて、学習しようという気持ちはあるんだけど、どうやって勉強したらいいのかわからない。」「もっと効率のよい家庭での学習方法を教えて欲しい。」と思っている人はいませんか？

しかし、人それぞれ違うので、理解できている内容や学習方法も違います。また現時点での学力にも違いがあり、何を重点に置いて学習するべきかも違います。

授業は、みんなと一緒に勉強するチャンスです。人の意見を聞いたり、人に教えてもらえるチャンスです。そして、家では自分一人で集中して勉強できる時間が確保されています。学校での勉強と家での勉強をうまく組み合わせれば、自分にとって合う勉強方法は必ず見つかるはず。確実に言えるのは、家庭学習を抜きにしては、学力の向上はないということです。

そして、家庭学習を充実し、効果的なものにするための方法は、自分で実行してみて確認することでしか見つかりません。つまり「どうやったらいいのかわからないか？」と考えるより、思いつく学習方法をやってみて、その効果を確認していきましょう。

学力向上のための5段階

学力に限らず、能力を向上させるためには次のステップを踏むことになります。

- 1) 内容を理解する。
- 2) 必要なこと(基礎的、基本的な)を覚える。
- 3) 具体的な課題(活動)に取り組む。つまり、練習を行う。問題を解いてみる。
- 4) 成果を確認し、できたこと・できていないことを明らかにする。
- 5) もし、内容を理解できていないなら、1)に覚えるべきことが定着していないなら、2)に戻る。

家で復習をする場合、授業中に授業内容を十分理解してていれば、2)から、授業の中で基礎・基本を覚えられていれば、3)から実行すればよいと思います。

- 1) では、教科書やプリントをもう一度読んだり、ノートやプリントを見て授業で何を学習したのかを確認すれば良いでしょう。
- 2) では、教科書の太字部分や数学・理科などの言葉や式を声に出して、書きながら覚える。
- 3) 「具体的な課題に取り組む」と4) 「成果を確認し問題点を明らかにする」とは具体的にどうすればいいのでしょうか？

具体的な勉強方法はこうやって

ところで、3) 「具体的な課題に取り組む」と4) 「成果を確認し問題点を明らかにする」とは具体的にどうすればよいかのかわかりますか？

最も具体的な方法は、「問題集」をやることです。やってできた問題は、「内容を理解し、覚えている」ことになるし、できなければ「内容を理解していないか、覚えていない」ということです。できなかった問題は、問題集のまとめの部分で確かめたり、教科書を読んだり、ノートを読んだり、必要な内容を覚える努力をしましょう。

ここで「よし、問題集を買おうぞ！」という人はちょっと待ってください。また「どんな問題集が良いのか教えて欲しい」という人もあせる必要はありません。

多くの教科では副教材として問題集を渡しています。それらの問題集は各教科担当の先生が「これは使える」と判断したものです。それらを有効活用すれば、新しい問題集は必要ありません。学校で配られた問題集を開き、とにかく1ページやってみましょう。

全部○がつけば、安心して次のページをやれば良いし、×がついた部分は教科書やノートで再確認し、覚えていない事は覚えましょう。

そして、しばらく時間を置いてもう一度同じページをやって、1回目×になった問題が○に変われば、「学力が向上」したことになります。同じ問題集に繰り返し取り組めば、自ずと力がつきます。

この時のポイントは2つあります。

一つは、1回目で○になった問題は「飛ばしてもよい」ということです。

二つめは、2回目でも×ならば、3回目で○。3回目でも×なら4回目で○になればいいということです。全部○になるまで何回でも取り組むことです。それを継続させるか否かです。

時間はかかるかもしれませんが、最低でも5回やれば、力はつきます！「継続は力なり」です。頑張りましょう！

学習確認プログラム

5月10日(木) 11日(金)